

スプリング・ドライブ

ソフトローラー

ローラーキット

お部屋のイメージを変える あなただけのロールスクリーンを作りましょう。

つくる前に確かめましょう。

キットの内容

	角ミノ		ブラケット
	ローラーパイプ (ローラーエンド内蔵)		スプリングモーター (ローラーパイプ内に差し込んであります)
	ボトムキャップ		ボトムバー
	アクセサリ		セットテープ (幅9mm)
	セットテープ (幅15mm)		タッピンネジ
	ワッシャー		

道具

	メジャー		定規		多用途接着剤
	ハケ		ハサミまたはカッター		ボトルスティフナー (別売)
	プラスドライバー		金鋸		

キットをつくる前の準備

取付場所の採寸をします。

取り付け場所の採寸寸法が仕上がりの全体寸法になります。

窓縁の内寸を採寸します。 窓縁の端から端までを採寸します。

スクリーン(生地)をカットします。

スクリーン幅は仕上がり幅から43mmひいた寸法です。スクリーン丈は仕上がり丈に200mm足した寸法となります。なお、スクリーンの幅と丈の比率は、1対4以下になるようにして下さい。

生地の裏面にスクリーン幅の線を、平行になるように引いて下さい。この線から幅20~30mmをほつれ止めにとり、ボトルスティフナー(別売)を塗布します。完全に乾いてから線に沿ってカッターナイフまたはハサミでカットします。

仕上がり幅-43mm
スクリーン幅
仕上がりスクリーン
スクリーン丈+200mm
ほつれ止め領域

キットの幅詰めが必要なとき

仕上がり寸法が、キットの寸法よりも小さい時には、金鋸でカットします。

ローラーパイプ は仕上がり幅より43mmひいて下さい。
ボトムバー は仕上がり幅より38mmひいて下さい。
セットテープ は仕上がり幅より43mmひいて下さい。

ご注意
ロールスクリーンの最小サイズはデータシートを参照して下さい。

スクリーンを組み立てましょう。

- スクリーンの表面の上部に9mm幅のセットテープを、下部に15mm幅のセットテープを四隅が直角になるように貼付します。
※スクリーン(生地)とセットテープの接着力が弱い場合は多目的接着剤を使用し固定して下さい。
- スクリーンとセットテープのあまった部分をカットします。
- スプリングモーターをローラーパイプから取り外し、9mm幅のセットテープを貼付したスクリーン上部を下図のようにローラーパイプの溝に差し込みます。取り外したスプリングモーターを再度ローラーパイプにしっかりとめ込みます。
- スクリーン下部も15mm幅のセットテープを中心に一巻きし、ボトムバーの溝にローラーパイプと同様のやり方で差し込みます。
- 下図のようにスクリーンを巻いて下さい。巻く時、スクリーンのしわやたるみが出ないように、ローラーパイプにスクリーンを巻き取ります。
- ボトムバーの左右にボトムキャップを差し込み、アクセサリがボトムバーの中心にくるようにセットして下さい。

ブラケットを取り付けましょう。

- ロールスクリーンのサイズに合わせて、ブラケットをタッピンネジで水平に取り付けます。
※角ミノのブラケットのカバーは外しておきます。

本体を組み付けましょう。

- 右側の丸穴のブラケットにローラーエンド(ローラーパイプに内蔵)を差し込み、左側の角ミノのブラケットにスプリングモーターを落とし込みます。
※ロールスクリーンを左右に動かし、落下の危険のないことを確認して下さい。
- 手を離すとスクリーンは自然に下りてきます。スクリーンが下がったらそのまま本体をブラケットから外し、手でスクリーンを巻き取ります。巻き取ったら、再度本体をブラケットに組み付けます。この時、スクリーンが下がるようならもう一度スクリーンをブラケットから外して巻き取ります。
※スクリーンを少し下に引っばるとスプリングモーターがカチッと音がしてスクリーンが止まります。スクリーンが自然に下がらず、操作し、開閉することを確認して下さい。角ミノのブラケットのカバーをし、「カチッ」と音がするまでロックして下さい。 ※巻き取りは強すぎず、弱すぎず、自然な感じで行き、もし動作が悪い場合はやり直して下さい。
- これで完成です。操作は、アクセサリを手で引いて、止めたところでスクリーンはストップします。スクリーンを巻き上げたい時には、少し下に引いて手を離すと巻き戻ります。
※アクセサリは必ずボトムバーの中心にセットして下さい。片寄っていると、「タケノコ状態」やヨシの原因になります。

完成!

こんなときには

巻きズレにご注意!

巻き込んだ時にズレて「タケノコ状態」が生じる場合、ローラーパイプにビニールテープを2~3cm貼って調整します。

うまく巻き戻らないときには

うまく巻き戻らない時にはムリに巻かず、斜め手前に引いてから離すと戻ります。
※ローラーパイプを手で回転させないでください。破損します。

ご使用上の注意

- ロールスクリーン本体およびボトムバーを強い力で引っ張ったり、ぶらさがったりしますと故障の原因や落下する場合があります。危険ですのでおやめ下さい。
- ロールスクリーンの下に温度の高くなるストーブなどを置かないで下さい。火災の原因になります。
- 風が強い時は、ロールスクリーンを巻き上げるか、窓を閉めて使用して下さい。スクリーンがあおられて器物などにあたり、破損の原因となります。
- 部品の改造は、絶対に行わないで下さい。

キットに合わせる生地の選び方

- ①生地の重量200g/m²以下。(シーツ地を目安にしてください。)
- ②厚さが均一でゆがみがないこと。
- ③生地の必要寸法
仕上がり幅のプラス30mm
仕上がり丈のプラス200mm

スクリーンほつれどめ(別売)

●ボトルスティフナー

データシート

METACO inc.

株式会社 メタコ

本社
106-0032 東京都港区六本木7-3-8 永谷ヒルプラザ六本木203
TEL 03-3403-9571 FAX 03-3403-6498

大阪営業所
540-0011 大阪府大阪市中央区豊人橋1-4-31-9F
TEL 06-6947-1771 FAX 06-6947-1772
URL www.metaco.net